

ナンバープレートの塗装と汚れ防止対策について

## 車 ボ デ ィ ー 傷 例

① 車 ドア 左 下 部



② 同 上 部 拡 大



プレート装着状況の例



## 廃標洗淨試験結果

### 1：使用洗淨剤

|   | 商品名称    | 主要成分                               | 特記（性状他）           |
|---|---------|------------------------------------|-------------------|
| ① | A社シャンプー | 陰イオン界面活性剤、両性界面活性剤、洗淨助剤             | 液体                |
| ② | B社クリーナー | 界面活性剤、アルカリ剤                        | 液体<br>アルカリ性       |
| ③ | C社シャンプー | 非イオン系界面活性剤、陰イオン系界面活性剤、シリコーンオイル、研磨剤 | 液体 中性<br>コンパウンド入り |

### 使用方法

- ①水をかけて砂や泥汚れを洗い流した後、30mlを水1ℓに薄め、スポンジに含ませて洗い、水で洗い流す。
- ②水をかけて砂や泥汚れを洗い流した後、汚れた箇所にスプレーし2～3分放置し水を含ませたスポンジで擦り、その後水洗いする。
- ③水をかけて砂や泥汚れを洗い流した後、水を含ませたスポンジに液体を取り、よく泡立てて汚れた部分にすり込むようにして洗う。  
洗車後は泡がなくなるまで水で充分洗い流し、布などで水滴が残らないよう拭き上げる。

①A社シャンプーと②B社クリーナー

製造年月 : 平成15年6月

汚れ種類 : 水あかによる汚れが全面にある。



洗浄方法

かな文字部

①A社シャンプー

一連番号「0」

②B社クリーナー



①による洗浄では、一部に汚れ、シミが残っているのに対し、②で洗浄した部分はきれいになっている。

② B社クリーナーと③ C社シャンプー

製造年月 : 平成15年6月

汚れ種類 : 水あかによる汚れが全面にある。



洗浄方法

かな文字部

② B社クリーナー

一連番号より右側

③ C社シャンプー



両方の薬品とも洗浄力はかなり強力。

③で洗浄した部分の方が虫汚れ、シミともきれいになっているが、強く擦ると、塗料の落ちが見られる。

提供サンプル洗浄試験結果



初年登録 : 平成 8 年 8 月

使用洗浄剤 : ③ C 社シャンプー

汚れ種類 : 水あか、虫(少ない)

汚れはかなりきれいになり、光沢も出ている。

## 考察

- 1 : 適切な洗浄剤を用いると、ナンバープレートの汚れ、シミ、虫による汚れなどはかなりの部分取り除くことが可能。
  
- 2 : 虫汚れを取り除く薬品などにはアルカリ性のものがあり、その場合アルミ（ナンバープレート素材）への使用には注意が必要（アルカリ性の薬品はアルミニウムを腐食させる：今回の試験では異常は認められなかったが、繰り返しの使用、薬品を付けたままの放置には注意が必要なものと思われる）。
  
- 3 : コンパウンド入りの洗浄剤は汚れを落とす力が強いので、柔らかい布・スポンジで軽く擦ってきれいにするのが肝要である。  
このような使用方法を守らず、強い力でかつ堅い布などで汚れを落とそうとすると、塗膜まで傷めてしまうので注意が必要。
  
- 4 : ナンバープレートの汚れなどは、汚れが付着してからなるべく早く洗い流すことが重要で、放置すると汚れが落ちにくくなる。

以上